第10期「まちづくり大学」グループワークの議事録

Ｄ班　　ファシリテーター　（　丸山高廣　　）

参加者	中林・花井・中島・谷上・向井
	発表役（　谷上・向井　）

提案者	地域デビュー(ボランティア)への気づき・目覚め	問題点・障害など又は取組みテーマ
花井	人との出会いを大切にしたい。	現役世代をどう巻き込むか。
中島	防災にもっと力を入れる。	防災訓練をして、少なくとも避難場所がどこかを把握しておく。
中林	大阪狭山市に観光課を作ってほしい。	狭山池だけではなく、狭山の観光を開発してほしい。
谷上	あまの街道、陶器山を守る会に参加している。	里山として残してほしいので、落ち葉を掃かないでほしい。
向井	地域で集まる場所があったらいいのに。	参加をうながすシステムがほしい。

話合いの概要	若者の参加、現役を引退されすぐの方のまち研への引き入れなどこれからの人材育成について話ました。 実際の活動として、あまの街道、陶器山を守る活動、だんじりへの参加、防災訓練の実施、自治会や老人会での活動なども話されました。 また、これからの大阪狭山市を知ってもらうために観光課の必要性、情報の発信と受け取れるシステム、地域で集まることができる場所づくりなど問題点や要望なども話されました。
発表内容	行政で任せていては、ダメな時代です。 誰がやるのか、それは私たちです。 税金を少なくするには、私たちが、がんばることです。 まずは、広報を熟読することからスタートだと思います。
感想	実際にすでに様々な活動に参加されている方、これからの方がいる中、皆さん、大阪狭山市を愛しておられ、感じ方や考えは違え、様々な方法で参画したいと意欲的な意見がありました。 大阪狭山市は、人と人が活発なまちだと思いました。

その他感想記入
講座を振り返っての意見・感想として 　新しい人の出会いは大切なので、知り合えたメンバーでお話や情報交換ができたらいいなと思いました。